目ざまし時計
取扱説明書
電波クロック

お買い上げありがとうございました。
ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくご愛用くださいますようお願い申し上げます。
なお、この取扱説明書はお手元に保存し、必要に応じてご覧ください。

この取扱説明書の内容は、予告なしに変わることがあります。
印刷による制限のため、この取扱説明書中の図が、実際の表示と異なる場合があります。
この時計によって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いません。
この取扱説明書を製造者の許可なくして変更・複製することを禁じます。

本製品、ならびにアフターサービスなどにつきましてご不明なことがございましたら、製品本体の裏面または底面に表示してあります製品番号（品番）をご確認のうえ、セイコークロック㈱お客様相談室にお問い合わせください。
（例：AMOOO、PWOOO、KROOOなど）

お客様相談室　0120-315-474
http://www.seiko-clock.co.jp
発売元
セイコークロック株式会社

説明書番号　FSQ-142P

製品の特長 ▶

- 電波修正機能つきデジタル時計（福島・九州の東西電波を自動選局）
- ウィークリーアラーム機能（曜日ごとにアラームの設定が可能）
- 時刻、カレンダーに加えて温度、湿度、快適度（８段階）を表示
- 電子音アラーム（アラームは一度止めても約５分後に再び鳴り出すスヌーズ機能つき）

※ 電波を受信できない場合でも、クオーツ時計としてお使いいただけます。

電波クロックについて ▶

■電波時計／電波修正機能とは

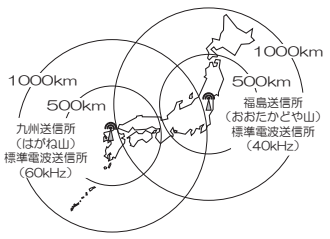
正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、現在時刻を表示する時計です。

■標準電波とは

情報通信研究機構（ＮＩＣＴ）が運用している時刻情報をのせた電波で、国内２ヵ所の標準電波送信所からそれぞれ異なる周波数で送信されています。標準電波の時刻情報はおよそ１０万年に１秒の誤差という超高精度を保つ『原子時計』によるものです。

■電波受信について

標準電波が受信可能な地域は条件によって異なりますが 送信所（東・西２ヶ所）からおおむね１０００ｋｍ～ １２００ｋｍです。この製品は４０kHz（東・福島送信所）、６０kHz（西・九州送信所）のいずれか受信しやすい電波を自動的に選択し受信します。ただし、天候、置き場所、時計の向き、時間帯あるいは地形や建物の影響などによって受信できない場合があります。



■ご注意

- ●電波障害等により、誤った受信をした際に、誤った時刻を表示する場合があります。また使用場所・電波状況によっては受信できない事があります。このような時は、場所を変えてお使いください。
- ●電波を受信できない場合は、内蔵クオーツの精度で計時します。
- ●標準電波は、毎時15分と45分からの各１分間はコールサインの送信を行うため一部時刻情報の送信を中断します。また設備のメンテナンスや落雷などの影響により停波することがあります。停波に関する情報は、弊社ホームページをご覧になるか、お客様相談室にお問い合わせください。
（ホームページアドレス http://www.seiko-clock.co.jp）

■使用場所について

本製品は、テレビやラジオと同様に電波を受信するものです。ご使用の際はできるだけ、電波を受けやすい窓際などにおいてください。次のような環境条件では正確に受信できないことがあります。

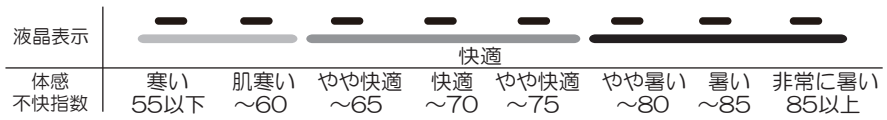
- ●ビルの中、ビルの谷間、地下。
- ●高圧線、テレビ塔、電車の架線の近く。
- ●テレビ、冷蔵庫、エアコン、空気清浄機、パソコン、ファクシミリ等の家電製品やＯＡ機器の近く。
- ●工事現場、空港や軍事基地の近く、交通量の多い所など、電波障害の起きる所。
- ●乗り物の中（自動車、電車、飛行機など）
- ●その他電波ノイズを発生させるものの近く。
- ●スチール机等の金属製の家具の上や近く。

温度・湿度・快適度表示について ▶

- ● センサーが時計内部にあるため、時計周囲の温度・湿度が変化しても表示が変わるまで時間がかかります。
- ● 温度・湿度が以下の状態になったときの表示
  - **温度**　−30℃より低い：「Lo」　＋60℃より高い　：「HI」
  - **湿度**　20%より低い：「Lo」　90%より高い　：「HI」

  ただし、湿度表示は温度が 0℃～＋60℃ 以外の状態では「ー－」と表示されます。
- ● 快適度

  不快指数を８箇所の━マークで示し、━マークは８箇所の内の１つが表示します。



※ 体感は個人差がありますので、快適度はあくまでも目安としてご使用ください。
※ 快適度の表示（━マークなど）は製品によって、デザインが異なる場合があります。

保証・アフターサービス ▶

- ●この時計はメーカー保証です。
  保証の内容については保証書をご覧ください。尚、保証書は日本国内のみ有効です。
  また、アフターサービスも海外ではできません。
- ●保証期間中の保証規定に基づいた修理品は、お買い上げ店がお預かりし、メーカーが無料で修理または同等品と交換いたします。必ず販売店名捺印の保証書を添えてご依頼ください。
- ●保証期間中でも無料保証の対象とならない修理品および保証期間経過後の修理品は、ご希望により有料で修理させていただきます。
- ●この時計の修理用部品は３年間保有しています。この期間は原則として修理が可能です。修理用部品とは製品の機能を維持するために不可欠な時計本体の部品です。修理の可能な期間は、ご使用条件により異なります。また修理可能な場合でも元通りの精度にならない場合があります。お買い上げ店とよくご相談ください。
- ●修理のとき、部品・その他の付属品は、一部代替部品を使用させていただくこともありますので、ご了承ください。
- ●保証期間中・経過後とも、修理品はお客様がお買い上げ店にお持ち込みいただきます。
  修理を依頼されるときは、お買い上げ店にご持参ください。
- ●保証期間外、もしくは無料修理の対象とならない修理の際は、本体の修理料金のほか、取扱店と修理工場との間の往復運賃、諸掛かり費用をお客様にご負担いただきます。代金が標準小売価格を上回る場合があります。
- ●お客様が分解しますと修正不可能になる場合やけがの恐れがあり危険です。また保証の対象外となります。

必ずお守りください。 安全上のご注意 ▶

⚠ 警　告

＜アルカリ電池について＞

(1)ショート、充電、分解、加熱、火に入れるなどしないでください。
アルカリ性溶液がもれて眼に入ったり、発熱、破裂の原因となります。
(2)万一、アルカリ性溶液が皮膚や衣類に付着した場合にはきれいな水で洗い流し、眼に入ったときは、きれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。

＜梱包用ポリ袋について＞

ポリ袋は絶対にかぶらないでください。

⚠ 注　意

＜時計の設置場所について＞

落下や転倒により、けがおよび器物を破損する恐れがありますので、振動のある所や、不安定な場所には時計を設置しないでください。

＜電池について＞

下記のことを必ず守ってください。電池の使い方を間違えますと液もれや破裂のおそれがあり、機器の故障やけがなどの原因となります。

(1)電池は必ず㊀側から入れてください。また ㊉㊀ を正しく入れてください。
(2)製品仕様の電池寿命を経過した場合は、時計がまだ動いていてもすべて新電池と交換してください。
また、時計を使わないときは電池をすべてはずしてください。電池の一部の交換や、電池を入れたままにしておくと、他の部分の止まりや古い電池からの液もれ等で時計や、周囲の物を汚したり、傷めたりする恐れがあります。
(3)付属の電池は充電式ではないので充電すると液もれ、破損のおそれがあります。
(4)電池に直接ハンダ付けしたり、水滴をつけないでください。
(5)直射日光・高温・高湿の場所を避けて保管してください。また使用済みの電池は、速やかに処分または幼児の手の届かないところに保管してください。
(6)時計が動かない等の場合、電池端子が汚れている場合があります。やわらかい布などでクリーニングしてください。
(7)付属の電池は工場出荷時より付けられている動作を確認するためのモニター用電池（お試し用電池）です。お買い上げ後、仕様の年数に満たないうちに電池寿命が切れることがあります。
(8)充電式電池や初期電圧が高い電池は使用しないでください。正常に動作しない、電池寿命が短くなるなどの不具合が発生する場合があります。

＜液晶パネルについて＞

液晶パネルが破損した場合、ガラスおよび中の液晶には十分に注意してください。
万一以下の状態になったときは、それぞれの応急処置を行ってください。
(1)皮膚に付着した場合は、付着物をふき取り、水で流し、石けんでよく洗浄してください。
(2)目に入った場合は、きれいな水でよく洗い流し、最低１５分間洗浄した後、直ちに医師の診断を受けてください。
(3)飲み込んだ場合は、きれいな水でよくロの中を洗浄してください。大量の水を飲んで吐き出した後、直ちに医師の診断を受けてください。

必ずお読みになってからご使用ください。 使用場所・お手入れ ▶

＜使用場所について＞

下記のような場所では使わないでください。
製品の品質が確保されなくなり、精度不良や電池切れを起こすことがあります。また本商品は業務用ではありません。

- ●温度が−10℃（氷点下10度）以下になる所。
- ●温度が+50℃（50度）以上になる所や直射日光のあたる所。例えば、屋外、暖房器具などの熱風や火気に近い所。
- ●浴室など湿気の多い所。また、水がかかる所や加湿器の蒸気が直接あたるような所。
- ●強い磁気や振動がある場所。不安定な所。
- ●電波ノイズを発生させるものの近く。
- ●工場、台所などの多くの油を使用する所に使用しないでください。
- ●塵、埃の多い所。
- ●ビニール系素材の壁や敷物等の上。壁や敷物および時計が汚れたり、傷んだりすることがあります。

＜お手入れについて＞

- ●枠をふくときは、湿った、やわらかい布でふいてください。
- ●よごれがひどいときは、水でうすめた中性洗剤を少量、やわらかい布につけてふき、ふいた後で乾ぶきしてください。
- ●ベンジン、シンナー、アルコール、ミガキ粉、各種ブラシなどは使わないでください。殺虫剤、ヘアスプレーなどもかからないようにしてください。変色、傷の恐れがあります。

故障かなと思ったときは ▶

製品が正常に作動しないときは、修理を依頼する前に、この表を参考にお調べください。
なお、新しい電池と交換される際は、電池の使用推奨期限をご確認のうえご使用ください。

症　状	考えられる原因	処　置
表示が出ない	・電池が入っていない。 ・電池の容量が少なくなっている。	・新しい電池を、電池の向きを確かめて入れて、「リセットボタン」を押してください。
	・電池が正しい向きで入っていない。 ・きちんとリセットされていない。	・電池を正しく入れ直して、確実に「リセットボタン」を押してください。
時刻またはカレンダーの表示が欠けている	・電池の容量が少なくなっている。	・新しい電池を、電池の向きを確かめて入れて、「リセットボタン」を押してください。
	・きちんとリセットされていない。 ・静電気等による誤動作。	・電池を入れ直してから確実に「リセットボタン」を押してください。
時刻またはカレンダーが合っていない	・受信に成功していない。	・「■電波を受信できなかった場合」をお読みになり、再度受信させてください。
	・電池の容量が少なくなっている。	・新しい電池を、電池の向きを確かめて入れて、「リセットボタン」を押してください。
	・きちんとリセットされていない。	・電池を入れ直してから確実に「リセットボタン」を押してください。
アラームの音が鳴らない	・アラームが設定されていない。	・使用したい曜日のアラームを設定してください。
	・電池の容量が少なくなっている。	・新しい電池を、電池の向きを確かめて入れて、「リセットボタン」を押してください。

製品仕様 ▶ （改良のため予告なく変更する場合があります。）

- ●時　間　精　度：平均月差±30秒（気温5℃から35℃で使用した場合）
  （電波受信による時刻修正を行わない場合）
- ●表　示　精　度：±1秒（電波受信による時刻修正を行った直後）
- ●使用温度範囲　：−10℃～+50℃　ただし、表示判読可能温度範囲　0℃～+40℃
- ●ア　ラ　ー　ム：最大7つ設定が可能。電子音、約5分間オートストップ、約5分間スヌーズ
  （スヌーズは何回でも繰り返すことができます。）
- ●カ　レ　ン　ダ　ー：2000年1月1日～2099年12月31日のフルオートカレンダー
  月末、うるう年とも修正不要。
- ●温度測定範囲　：0℃～+40℃（測定範囲内での精度±2℃）
- ●湿度測定範囲　：25%RH～85%RH（測定範囲内での精度25℃で±8%）
- ●表　　示　：午前／午後表示による12時間制または24時間制表示、
  周囲温度（℃）・湿度（%）、日付（月／日・曜日⇒各アラーム時刻）
- ●使　用　電　池：単3形乾電池　2個
- ●電　池　寿　命：約1年　※単3アルカリ乾電池（LR6）を使用時。
  ※アラームを1日10秒間・バックライトを1日2回使用した場合。
- ●電波受信機能　：自動受信
  （午前2時から3時間ごと。次回の受信までクオーツの精度で動いています。）
  手動受信
- ●電池切れ予告機能：電池交換時期に電池交換マークで表示

※電池寿命はご使用条件により、変わる場合があります。

ご使用方法 ▶ （時計により外観、ボタン・電池の位置が異なりますが、操作は同じです。）

■付属品 ご使用の前にご確認ください。

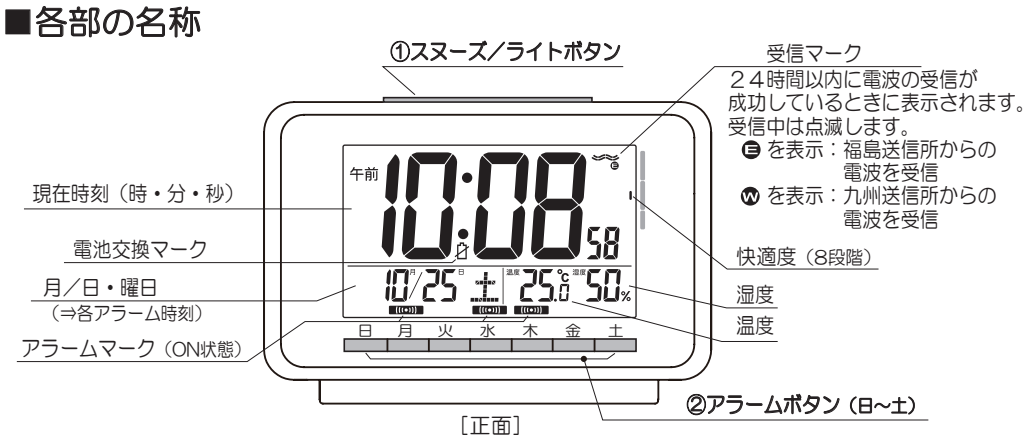
■取扱説明書（本書） １枚 ■保証書 １枚 ■モニター用電池（単３形乾電池）２個

※付属の電池は、動作を確認するためのモニター用電池（お試し用電池）です。お買い上げ後、仕様の年数に満たないうちに電池が切れることがあります。

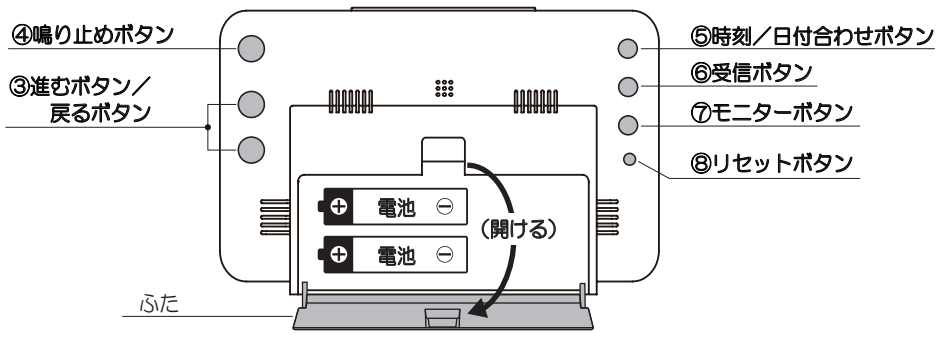
■はじめに

安全上のご注意ならびにその他の注意事項をお読みの上、ご使用ください。
製品によって、表示部に透明シールが貼ってあります。シールが貼ってある場合は、ゆっくりはがしてください。
（このとき静電気により黒い線、しみなどが発生することがありますが、しばらく放置しますと元に戻ります。）

■各部の名称



［正面］



［裏面：ふたを開けた状態］

■ご使用方法

１．電池を入れてください（単３形乾電池 ２個）

裏面のふたを開けて、電池を入れてください。
必ず ⊖ 側から ⊕⊖ をまちがえないように注意して入れてください。
※種類の異なる電池を混ぜて使用しないでください。
※充電式電池や初期電圧の高い電池を使用しないでください。正常に動作しない、電池寿命が短くなるなどの不具合が発生する場合があります。

２．「⑧リセットボタン」を先端の細いもので押してください

表示が全てついた後、時刻「午前12：00」となり、標準電波の受信を開始します。
注）電池交換後は、必ず「⑧リセットボタン」を押してください。

３．時計を設置してください

本機を使用したい場所に置いてください。
（窓際などできるだけ受信しやすい場所でのご使用をお勧めします。）

●受信中は、Ⓔ マーク（または Ⓦ マーク）が点滅し、受信マーク が受信状態に応じて変化します。
●受信に要する時間は最長約１６分間です。

［受信成功］

受信マーク が表示され、［月／日］［曜日］［時：分］［秒］が正しい時刻と日付に修正されます。
●受信成功後、正しく表示されているかをご確認ください。

［受信できない］

受信マーク は表示されず、このとき時刻、日付の修正は行なわれていません。右記「■電波を受信できなかった場合」にしたがって場所を変えて再度受信させるか、手動操作で時刻、日付を合わせてください。
●使用場所の受信状態が良くない場合は、数分で受信を中断することがあります。

表示あり

［受信に成功した場合］

表示なし

［受信できなかった場合］

４．アラームを鳴らすには（ウィークリーアラーム機能）

１週間分のアラームを曜日ごとに設定することができます。
(1)設定したい曜日の下にある「②アラームボタン」を押してください。
●アラーム時刻合わせの状態になり、現在時刻がアラーム時刻（またはOFF）に切り替わって点滅します。（約4秒間）
(2) 表示が点滅している間に「③進むボタン／戻るボタン」でアラーム時刻を設定してください。
●アラーム時刻合わせの状態で「③進むボタン／戻るボタン」を押し続けている間は早送りします。
●アラームマーク (((•))) が点灯します。
(3) 「②アラームボタン」を押してください。
アラーム時刻が確定され、通常表示に戻ります。
●約４秒間押されない状態が続くと、自動的にアラーム時刻が確定し、通常表示に戻ります。
(4) 設定した曜日のアラーム時刻になるとアラームが鳴ります。
●ライトが約５秒間点灯します。
※アラーム時刻を確認するには「②アラームボタン」を押してください。

５．アラームを止めるには

アラームを止めるには２通りの方法があります。

１．約５分後に再度アラームを鳴らす（スズーズ機能）

「①スヌーズ／ライトボタン」を押すとアラームが止まり、約5分後に再び鳴り出します。
●スヌーズ中はアラームマーク (((•))) が点滅します。
●スヌーズ機能は何回でも繰り返すことができます。
アラームは約５分間で自動的に止まります。（オートストップ機能）
アラームマーク (((•))) は表示されたままとなり、翌週のアラーム時刻にアラームが鳴ります。

２．鳴っているアラームを止める／スヌーズ中のアラームを止める

「④鳴り止めボタン」を押すとアラームが止まります。
●アラームマーク (((•))) は表示されたまま、翌週の同じアラーム時刻にアラームが鳴ります。

６．アラームを完全に解除するには

「②アラームボタン」を２秒以上長押しするとその曜日のアラームは完全に解除されます。
●アラームを解除するとアラームマーク (((•))) が消え、翌週以降もアラームは鳴らなくなります。
●再びアラームを設定する場合には「②アラームボタン」を２秒以上押してください。
前回の設定した時刻でアラームが設定できます。
※アラーム時刻を変更する場合は前記４項にしたがって、アラーム時刻を設定してください。

その他の機能 ▶

■自動受信について

午前２時から3時間ごとに、自動で電波受信を行います。
受信に成功すると現在表示している時刻、日付を修正します。

■電波を受信できなかった場合

１．電波を手動で受信させ時刻、日付を合わせる

「⑥受信ボタン」を押してください。標準電波の受信を開始します。

●受信状態については、左記「■ご使用方法」をご覧ください。
●うまく受信できない場合は本体の向きや場所をかえて、もう一度受信させてください。
ご使用中に受信マーク が表示されない場合は、使用場所の受信状態が良くないことが考えられます。
●詳しくは裏面（電波クロックについて）をご覧ください。

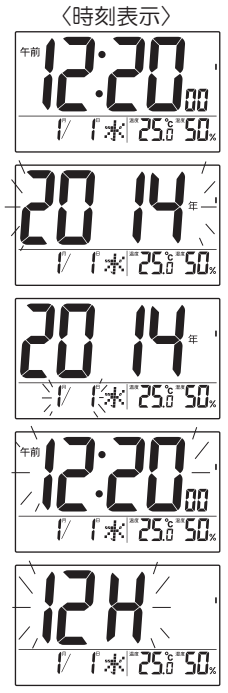
また、夜間は昼間にくらべて受信状態が良くなりますので、昼間に受信できなかった場合でも翌日までに自動で受信できる場合があります。

２．手動で時刻、日付を合わせる

電波を受信できない場合は、手動で時刻、日付を合わせてご使用ください。

(1)「⑤時刻／日付合わせボタン」を２秒以上押し続けてください。
(2)「⑤時刻／日付合わせボタン」を押すごとに、下図のように順に表示が点滅します。
(3)「③進むボタン／戻るボタン」で日付や時刻を合わせてください。
●「③進むボタン／戻るボタン」を押し続けている間は早送りします。
●約５分以上「③進むボタン／戻るボタン」が押されなかった場合は、自動的に［通常表示］に切り替わります。

〈時刻表示〉



［通常表示］
普段はこの表示でお使いください。

［年合わせ表示］
「③進むボタン／戻るボタン」で年を合わせてください。
年は2000年～2099年まで合わせられます。
※曜日は自動的に合います。

［月／日 合わせ表示］
「③進むボタン／戻るボタン」で日付を合わせてください。

［時刻 合わせ表示］
「③進むボタン／戻るボタン」で時刻を合わせてください。
「③進むボタン／戻るボタン」を押した瞬間に、秒表示は０秒にリセットされます。

［１２／２４時間制選択表示］
「③進む／戻るボタン」で１２時間制または２４時間制を選んでください。

(4)12／24時間制選択が終了しましたら、「⑤時刻／日付合わせボタン」を押して［通常表示］に切り替えてください。

■12時間制／24時間制の選択について

時刻の表示方法を切り替えるときは、上記「■電波を受信できなかった場合 2.手動で時刻、日付を合わせる」にしたがって、１２時間制または２４時間制表示を選んでください。
（受信マーク が表示されている場合、時刻の表示方法を切り替えると受信マーク は表示されませんが、その後受信に成功すると再度表示されます。）

■試し鳴らしについて

「⑦モニターボタン」を押し続けている間、時刻に関係なくアラームが鳴ります。

■電池切れ予告機能について

電池の残量が少なくなると、電池交換マークを表示し、交換時期をお知らせします。
新しい電池にすべて交換してください。（※電池交換マークは製品によって点滅します。）

■ライトについて

「①スヌーズ／ライトボタン」を押すとライトが点灯し、ボタンを放してから約５秒間点灯します。

■自動受信を止めるには

この時計には自動受信を止める機能があります。
（誤受信の防止や設定時刻をずらしてお使いになりたい場合等にご使用ください。）
(1)「⑥受信ボタン」を、“ＯＦＦ”が表示されるまで８秒以上押し続けてください。
(2)上記「■電波を受信できなかった場合 2.手動で時刻、日付を合わせる」にしたがって時刻を合わせてください。
●この機能を設定した後も「⑥受信ボタン」を押すと受信を行います。その後自動受信はしません。
●この機能を解除するには、「⑥受信ボタン」を、“ＯＮ”が表示されるまで８秒以上押し続けてください。

■ご注意

●この製品にはマイコンが内蔵されています。静電気等により表示不良等誤作動することがありますが、故障ではありません。「⑧リセットボタン」を押してください。
●「⑧リセットボタン」を押した場合は、設定された時刻等はすべてリセットされます。
●この製品は、日本標準電波仕様ですので、海外で電波修正機能は使用できません。
●液晶パネルは見る方向によって表示が薄くなったり、ムラになったりすることがあります。
また、温度が低く（または高く）なると液晶が正常に動作しないことがあります。
●電池交換後は、必ず「⑧リセットボタン」を押してください。